

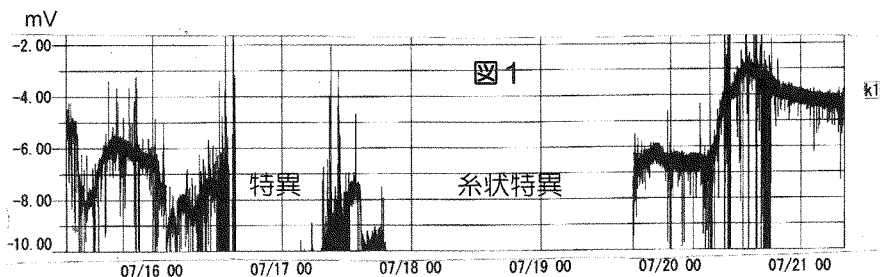
# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.302

2021.07/25 (日曜) 12:30 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### No.1778前兆続報 続報 No.301 の修正 7/27 地震発生の可能性考え易い



#### 7/18.7中心のK1特異は直前特異 ではなく、前兆変動ピーク認識 に修正

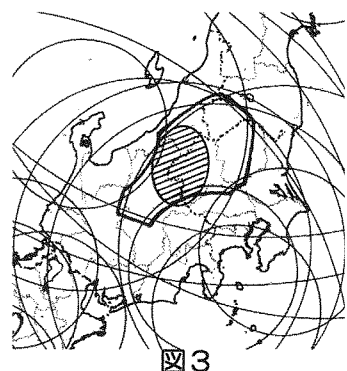
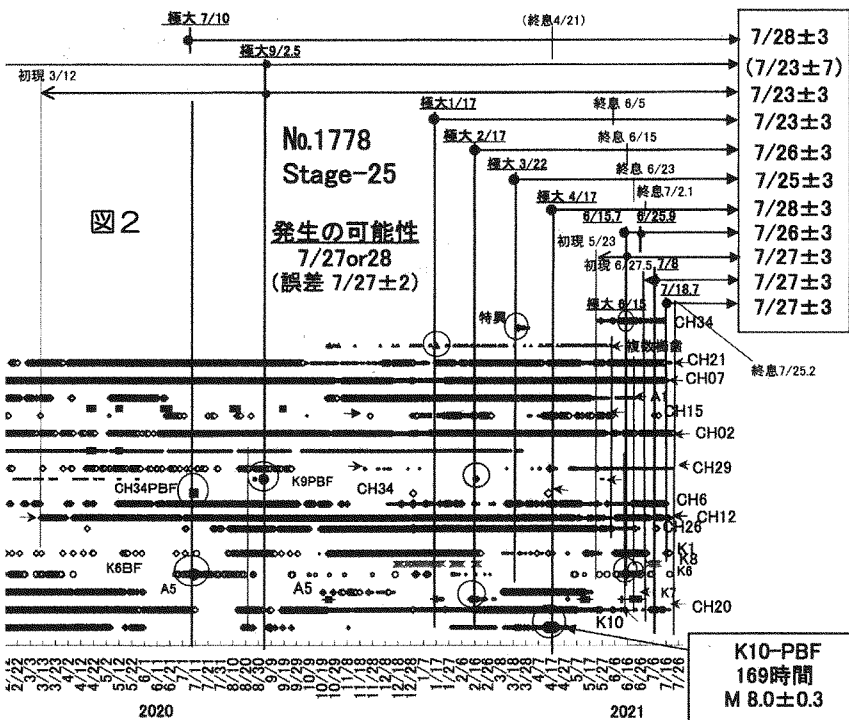
No.1778長期継続前兆群の続報です。前続報No.301では、7/8前兆変動ピーク（最終ピークと認識）に対する前兆変動終息が7/23夕刻から夜である可能性として、7/29±発生の可能性を報告致しました。

しかし、その後の観測で、微弱な前兆変動が複数観測装置に継続し、7/24夜から7/25の03時まで継続し、その後、完全終息となりました。現在八ヶ岳、秋田観測点、高知観測点の全30基の観測装置は全て静穏正常基線を記録中。前兆変動は認められません。7/8ピークを最終ピークとし、7/25.2終息対応で計算しますと7/31±発生となります。これは他の前兆変動関係から計算される推定発生時期と大きく異なることとなります。

7/18.7中心に出現した高知観測点のK1特異（図1波形）を、7/8極大に対する直前特異の可能性として計算しましたが、これを直前特異ではなく（No.1778前兆群の第25ステージでは直前特異は他にも観測されておりません）、単なる前兆変動ピーク（最終ピーク）と考えますと、

7/18.7ピーク～7/25.2終息の関係となり、Tmap:Tpp=3.9:1 経験則を使用して07月27日±発生が計算されます。これは他の関係からも調和致します。従いまして、対応地震発生は、07月27日が最も考え易い見解となりますので、修正させていただきます。尚、最大誤差は07月28日±3とさせていただきます。

また、当該No.1778前兆群では長い前兆変動出現期間中に火山近傍地震前兆変動が顕著に観測されました経緯があるため、火山近傍領域の可能性が示唆されています。しかし、ここ最近、現在も含め火山噴火前兆変動は観測されておりませんことから、火山近傍で発生となった場合でも近傍火山が噴火する可能性は考えにくいと思われま。左図3の斜線域はあくまでも参考で、御岳周辺等の可能性も否定はできません。ご注意ください。



- ◆ 推定領域：図3太線内領域・斜線域参考  
斜線域＝浅間山・白根山等火山近傍
- ◆ 推定規模：M8.0±0.3  
M7クラス複合の可能性も若干有
- ◆ 推定時期：07月27日 発生の可能性  
誤差：07月28日±3  
8/1迄に発生無い場合は再考予定
- ◇ 推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇ 推定発生時刻：午前09時30分 ± 1 時間30分  
または午後05時 ± 3 時間